倒された直後は部隊全体を見る

PUBG 陣営対戦を遊ぶ人向けの部隊内の役割分担を初心者向けに解説する MOBILE V4.6「血の覚醒」では、倒された後に通常の復活を残すか、ヴァンパイア陣営へ移るかの判断が勝敗を左右します。を確認しながら、味方の生存人数、復活経路、敵の位置、次の安全地帯を短く共有してから選びましょう。

人間側へ戻る条件を決める

味方が複数生存し、安全に合流できる場合は、武器と射程を維持できる人間側の復活が安定します。狭い建物を守れている時や、遠距離から射線を通せる時も、急いで陣営を変えずに部隊の形を保つ方が有利です。

ヴァンパイア化は再攻撃の形を作る

最後の味方が包囲されている、近くに同陣営が集まっている、開けた場所の射線を能力で越えられる場合は、ヴァンパイア化を検討します。単独で元の戦闘へ戻るのではなく、合流地点と攻撃方向を決めて人数差を作り直します。

4スキルは目的を分けて使う

クローは近距離の主攻撃、吸収は戦闘後の立て直し、感知は建物や高低差にいる人間の確認、変身は射線を越える移動や離脱に使います。変身の無敵中に攻撃を急がず、解除後に遮蔽物へ入れる経路を先に選んでください。

人間側は解除直後へ照準を合わせる

ヴァンパイアを一人で追わず、二人以上で同じ射線を作ります。変身中に弾を使い切らず、解除地点へ照準を置きます。感知された後は同じ角に残らず、上下階や別の出口を使って距離を作り直しましょう。

PvEは支援個体と周囲警戒を両立する

シールドを持つ敵がいる場合は、強化や連携を支える個体とエネルギー球を先に確認します。全員で報酬箱を開くと他部隊に狙われやすいため、三人が処理と回収を進め、一人が入口と接近する敵を監視する形が安全です。

特殊アイテムは帰路まで残す

移動、回復、召喚、防御に使える特殊アイテムは、入手直後に試し切らず、次の安全地帯へ入る手段を残します。通常装備との役割が重なる場合は、部隊全体の回復、投擲物、車両が不足しないよう持ち物を調整します。

有料要素はモードと分けて考える

陣営対戦を遊ぶことと、衣装や武器スキンへUCを使うことは別に判断します。ゲーム内で開催状況、地域表示、必要UC、確定入手条件を確認し、本命が決まるまでは予算を増やさないようにしましょう。

人間側とヴァンパイア側の判断、4スキル、PvE中の警戒、特殊アイテムの使い方を案内します。